



1998年へ
キック大7!!

広報

1998
平成10年

1

No.439

ひがししらかわ

人口の動き

—12月末住民登録人口から—

世帯数	902 世帯
人口	3,273人
人 入	13人
転 出	6人
出生	0人
死亡	3人

先月と比較して4人増
 昨年と同月と比較して
 26人減



家族が集い、おせち料理や鍋物などをつつきながら一家だんらんのひとときを過ごすお正月。しかし、三日目ごろには、そろそろ漬物にお茶漬けが食べたいという方も多いのではないだろうか。

今回は古くから日本人の食生活と深く結び付いている漬物。その製法は代々受け継いでいきたいものの一つでもあります。時代の流れとともに味付けもアレンジされていきます。今回は漬物にスポットをあて、全国様々な漬物、また、この村のおふくろさんたちの漬物を探ってみたいと思います。



漬物

漬物は野菜の保存食として

発達してきた

漬物は、原始時代の人々が海水から塩をとることを覚え、その塩を使って野菜を貯蔵するようになったのが始まりと考えられています。それも意識的なものではなく、残った野菜に塩をふりそのまま置いている間に発酵し、漬物になったというのが定説です。

愛知県名古屋市の郊外にある萱津神社は、漬物神社として知られており、ここには漬物発生の背景をうかがわせる言い伝えが残されています。

この地域は、肥よくな土地で海にも近い。ため、神社の祭礼にはいろいろな野菜とともに、塩が奉納されました。放置しておけば腐敗してしまう野菜を塩とともに神社のかめに入れておいたところ、自然にほどうい塩味の漬物ができていたとか。近辺の人々はその漬物を神の力で作られたものと考え、

万病に効くお守りにされたそうです。野菜の保存法として伝えられていくうちに漬物は加工法、味付けなどが工夫され、生活に浸透してきました。

全国の気候・風土を

生かした漬物

現代の日本に限っても、漬物の種類は様々。各地の気候風土によってとれる野菜も違い、また、製造方法も塩、米ぬか、みそ、酒かすなどいろいろな調味料が使われます。

それでは、全国の代表的な漬物を見てみましょう。

■北海道 冬が長く、寒さが厳しいため発酵が進みにくく、豊富な魚貝類を使って味に深みを出すのが特徴です。たとえば紅鯉の薄切りをキャベツや白菜、にんじん、きゅうりなどの野菜の間にはさんで箱に入れて押し漬けにした紅鯉はさみ漬け、ニシンを大根やに

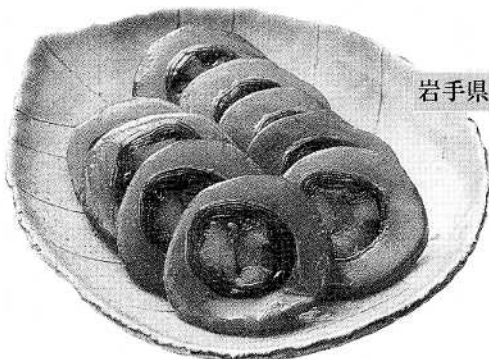
北海道



▲ [ニシン漬け]

▼ [金婚漬け]

岩手県



にんじん、キャベツの粗切りとともに塩と麹で漬け込んだニシン漬けなどがあります。

■東北地方 豪雪地帯が多く、少なめの塩でゆっくり発酵させ、素材を生かした香りの良い漬物ができます。その代表として、大根をいろいろの煙でくん製にし、塩とぬかで漬けた秋田県のいぶりがっこ。白うりの種をくりぬいて塩漬けにし、にんじん、きゅうり、ごぼうなどを昆布で巻いて詰め、みそ床に長く漬けた岩手県のお金婚漬けなどが

伝承

—— お姑さんからお嫁さんへ



あります。

■関東地方 短期間塩漬けにしたものをしょうゆやみそで調味料漬けにするものが多いこと。これは暖かいために塩漬けにして長くおくと酸味が出ていたみやすいからです。

全国的に親しまれているのは東京都の福神漬け。カレーライスに彩り良く薬味として定着しています。これは大根やなた豆、れんこん、たけのこ、し

いたけ、しょうが、しそなどを塩漬けや乾燥したのち、甘目の調味液に漬け込んだものです。

■中部地方 良質な根菜類が採れるため、大根などを使ったかす漬けが多く作られます。愛知県の守口漬けがその代表といえるでしょう。

また、東北と同様に標高の高い長野県では、野沢菜漬けが有名です。寒冷な気候のため、冬に備えて青菜を塩漬

けにしたものです。

■近畿地方 代表的な漬物の産地は、やはり京都。寒暖の差が激しい京都盆地では、聖護院かぶやすぐき菜といった特殊な野菜が生産され、公家や寺院のもてなし、茶席にも通用する酒脱な風味づけがされています。

その一例として聖護院かぶを薄切りにし、塩漬けにしてから昆布や唐辛子とともに酢、みりんなどの調味液に漬けた千枚漬け。かぶの一種のすぐき菜を塩漬けにし、乳酸発酵させたすぐき漬け。なす、きゅうり、みょうがなどを赤じその葉とともに塩漬けにしたしば漬けなどが有名です。

■四国・九州・沖縄地方 温暖な気候のため、みそやしょうゆ、かす、酢などを使った調味漬けがほとんどです。調味漬けは、短時間に味がしみ込みやすく、気温が高くても保存がきき、味がかわりにくいのが利点です。その中でも珍しい漬物を紹介しましょう。

瀬戸内海の小豆島は、国内唯一のオリブの産地。ここにはオリブを塩漬けにし、乳酸発酵させたオリブ漬けがあります。サラダやサンドイッチなどに添えて食べられます。

また、日本の最南端沖縄では、猛暑をのりきる健康野菜として親しまれているゴーヤ（にがうり）漬け。そのほかパイヤを沖縄のみそや黒砂糖を加えたたまり漬け、酒かす漬けが地元の人たちに親しまれています。

〔NON・NO野菜基本大百科参照〕



伝承

—— お姑さんからお嫁さんへ



縁側に座って漬物をつくる岩井まさゑさん

東白川村の

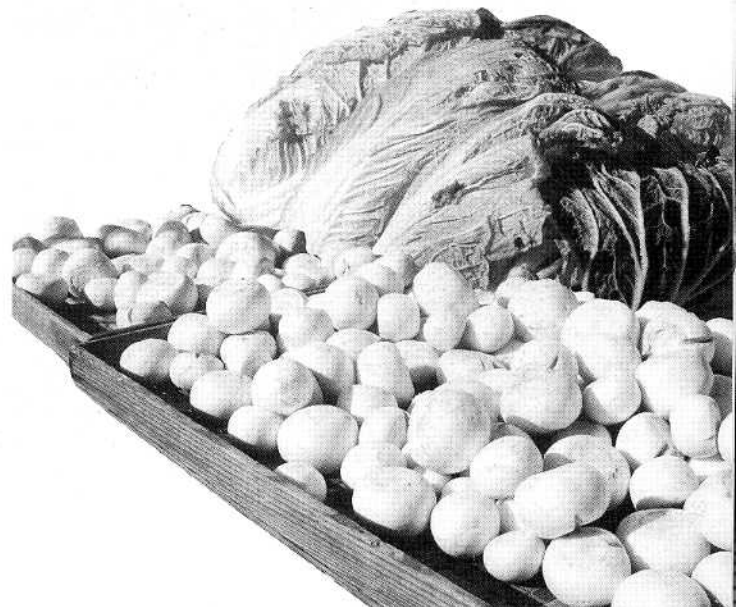
おふくろさんの味

この村でも各家々では、多少にかかわらず田や畑で野菜が栽培されています。夏にはナスやきゅうり、秋から冬にかけては大根、かぶら、白菜など豊富な野菜が収穫されます。採れた野菜は市場などに出荷するのではなく、冬場に備えて軒先などに並べて干したあと漬物にされます。

十二月の初旬、西洞の今井好美さん宅では、奥さんのりつ子さんが大根漬けに精をだしていました。十一月下旬に収穫し、干してあった大根が半円を描くぐらいに曲がるようになったところを見計らって、四斗樽の中にそれを並べ、上からこめか、あら塩、たくあん漬の素、唐辛子、そして甘みを出すために干した柿の皮、香り付けに乾燥したナスの葉を交互に入れ、わらぞうりに履き替えて「大根も自分も汗をかくぐらい踏む」と言いながら樽の中で足踏みをしていました。

樽の中がいっぱいになると、あとは上からふたをかぶせて重石を乗せ、日のあたらぬ涼しい所に置いて、ときおり大根からでた水分を取り除き、翌年十月まで眠らせておくとおいしい大根漬けができるそうです。

また、神付の今井喜代さんも大根、白菜、かぶらなどこの時期に採れる野



菜をほとんど漬物にされていました。

「母親から習った」という喜代さんは漬物を漬けるのがたいへん好きで、家を囲むように四斗樽がズラリと並び樽の中にはわらびやナス、きゅうりなどが漬けられていました。

しかし、こうした野菜を干したり漬けたりする光景を見るのもだんだん少なくなってきたようです。

その原因として、スーパーや八百屋で様々な漬物が手に入ることで、ましてや最近の若い人たちは塩分を控え、化学調味料で味をまろやかにした食品が好まれているようです。

そのため、野菜の少ない冬場の保存



師走の風物詩、軒先に連なる大根や干柿

食として昔から作られてきた漬物は、塩分が多いことから現代の若者たちには受け入れられず、おばあさんやおふくろさんの味というものがだんだん失われつつあるような気がします。そしておばあさんたちの作る漬物も時代のニーズに合わせた若い人好みの「あっさり漬け」に変わってきているようです。

今年七十九歳になられる神付の岩井まさあさんは、一人で生活しています。四人の子どもさんたちは都会で生活され、たまにようすを伺いに来るそうですが、帰りの土産はいつも漬物を持たせるそうです。

まさあさんの漬物は、一人暮らしのため樽でたくさん漬けることができず、白菜、かぶら、大根を薄く切

って、市販の調味液を入れて漬けた一夜漬け。それでも子どもさんたちが喜んで食べてくれるのが楽しみです。心を込めて漬けるそうです。

また、漬物はそれぞれ家庭の味もありますが、この村では特産品としても販売されています。

十一月の下旬ごろに味の館では、お歳暮の一品として間に合わせようと赤かぶら漬けの生産に追われていました。ここでのかぶら漬けは、三、四日間塩で荒漬けしたのち砂糖、酢を調合した調味液を入れ、冷暗室で約一ヶ月間本漬けをします。すると、かぶらの赤色が全体に染み渡り、色鮮やかな赤かぶら漬けができあがります。

味の館では無添加をモットーとしているため、味はもちろんのこと無添加の弱点である賞味期限の延長が今後の課題だと話してくれました。

一方、田舎のおふくろの味を売り物にしている白川茶屋では、十二月十三日に「白川茶屋の田舎漬け体験」を開催し、約二十人の参加者が漬物づくりの体験をしました。



白菜を漬ける今井喜代さん

もちろん講師は農業婦人の美味作の皆さんで参加者は美濃加茂市や各務原市の婦人の方々や次世代を担う村の主婦の皆さんなど様々な人たちが参加しました。

この体験は、「村の豊富な野菜で漬物づくりの基礎を学んでほしい」と行われたもので、参加した皆さんは、白菜、赤かぶら、大根、にんじんを切り漬けにした葉漬けコース。塩で荒漬けした大根を麹で漬ける大根麹漬けコース。そして赤かぶらを切って塩漬けにした赤かぶ切り漬けコースの好みの漬物づくりに挑戦しました。

中でも上親田の安江光子さんは、母親が代々の漬物づくりの秘伝をノートに書き残してきたそうですが、「時代の流れとともに塩加減も違う」とこの講習に参加されました。

また、若い世代で参加した久須見の古田かほるさんと古田真由美さんのお二人は、まだ子どもに手がかかる三十代の主婦です。「みそやしょうゆ、漬物づくりは奥が深いから」と真由美さん。二人は母親や姑さんに「教えてほしい」とはなかなか言えず知識だけでもと参加されました。



白川茶屋の田舎漬け体験のようす

こうして若い世代の主婦の皆さんもその家庭の伝統の味や昔の人たちの知恵を学ぼうとする意欲はあるようです。また、年配の方々でも「四十の手習い」「生涯学習」と言われるように新しいものをどんどん吸収しようという気を持たれています。ナスの皮や柿の皮でも無駄にせず、それを乾燥させて漬物の香料や味付けにすることなどはまさに昔の人の知恵といえるでしょう。

伝統という基本の上で、時代の流れとともに新たな挑戦をし、それをアレンジしていくことは大切なことです。

風光明媚な美しい自然の景色を演出する軒先に並べられた野菜や漬物づくりに精を出すおばあさんの姿。いつまでもこの風景が残され、おふくろさんの漬物をいつでも味わいたいものです。

謹賀新年



東白川村長
桂川 眞 郷

安全・安心・便利な
ふるさとづくりを

あけましておめでとうございます。
平成十年の年頭にあたり皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。
過ぐる昨年は、政財界や大手企業の相次ぐ不祥事に加え、信用第一を旨とする金融業界の不正と不良債券による倒産は、国内の信用不安と国際的信用失墜など激動の一年でした。そして、バブルに躍り金と物の豊かさを追い求めた過去の繁栄がもたらした結末に厳しい反省と意識改革が求められています。このような社会不安の中で、少子化、高齢化の進行、米の減反強化、地球温暖化とゴミ問題など環境保全と健

康安全に関心が高まりました。

村内は幸いにも災害もなく平穏の中に農業生産も平年作、夏秋トマトは二億円の販売達成を挙げられました。深刻な経済不況の中で木材関連地場産業をはじめ、農林商工団体活動も地域経済の活性化に貢献されました。

村政におきましては、国の行財政改革による厳しい財政事情の中で、第三次総合計画諸般の事業に積極的に取り組み、若者用住宅の建設、移動電話鉄塔建設、病院診療体制の充実、CＴスキャナの導入、そして霊柩車の配備もできました。また、助産から保健医療、福祉の一体化の各施設も完備し「ゆりかごから墓場まで」の福祉サービス体制が整いました。

村道整備では、柏本・宮代間「あさぎり街道」の完成、平の中川原線をはじめ、前山、加舎尾、中通、杉本線の改良工事、水道の普及など生活環境整備の促進、ソフト面では、中学生の海外研修、スポーツ文化活動、体験学習各種の交流イベントや花づくりに若者から高齢者まで生きがいと連帯の地域づくりに活躍されました。

さて、新たに迎えた平成十年は、国の行財政改革集中実施と景気対策など前途多難な幕開けとなりましたが、村

では在宅福祉と介護保険準備、茶工場統合と新工場建設支援、国道、村道改良の促進、水道、下水対策など前年に引き続き安全、安心、便利なふるさとづくりの推進など、若者が夢をもつて住める条件整備に努力し、二十一世紀をめざした健康とゆとりと元気な村づくりに全力を尽くしてまいります。変わらぬご指導とご支援をお願いし、年頭のごあいさついたします。



東白川村議会議長
村 雲 直 樹

人づくりこそ

村づくり

新年あけましておめでとうございます。皆様にはご家族おそろいで良い年を迎えられたことと思います。

昨年中は私も議会に対し暖かいご指導や激励の言葉をいただきました。誠にありがとうございます。心からお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、村内では六月の台風、七月の長雨があったもののさしたる災害もなく安全で安心して暮らせることができた一年であったと思います。

一方では行財政改革という名のものと、地方や過疎地に対する風あたりは益々強くなり、加えて経済情勢は秋以降急激に不景気感が強まり私たちの村にも少なからず影響を及ぼし始めました。

本年も社会情勢、経済情勢とも決して予断を許さないものがあると思います。

しかし、こうした時こそ立ち止まってゆっくり考え、無駄をはぶき、人材を育てながら力を蓄えることは、次の飛躍のためにはたいへんいい機会ではないかと思っています。

懸命に頑張っている村民の皆さんを見るとかならず明るい未来が来るものと信じています。

私たち議員もそれぞれの個性を発揮しながら、議会の果たすべき役割と責任を自覚し、村民の皆さんの期待に応え、村の発展のために頑張っていきたいと思っています。

迎えました平成十年、皆様にとりましては素晴らしい年でありますように祈念し、また、議会に対しても一層のご指導とご支援をよろしくお願いし、新年のあいさつとさせていただきます。

今年 は 寅 年

あけまして
おめでとう
ございます

今年 は寅年。虎は干支の三番目、食肉目ネコ科の動物です。ライオンが「アフリカの百獣の王」なら、虎は「アジアの百獣の王」です。

日本の文献に初めて虎が登場したのは「日本書紀」で、欽明天皇の六年（五四五年）に百済で虎退治をして、その皮を持ち帰った人がいるということが記されています。生きた虎が日本に来たのは寛平二年（八九〇年）といわれ、その後、江戸時代には、虎は見せ物として江戸、大阪などを回っていたようです。

多くの人が虎を見るようになったのは、動物園が普及するようになってからのことです。しかし、虎はことわざによく登場し昔から親しまれています。

だれでも知っている「虎の子」は大切なもの、秘蔵のものという事です。「虎穴に入らずんば虎児を得ず」も、虎の子が貴重なものという意味から、危険を冒さなければ（虎の住んでいる穴に入らなければ）成功は得られないということです。

「虎刈り」は丸刈りがはやら



なくなつたので、最近あまり見かけません。「虎の巻」は、もともとは兵法の秘伝を記した書物のこと。以前は学生たちが参考書などをこのように呼んだものですが、この言葉もはやらなくなりました。

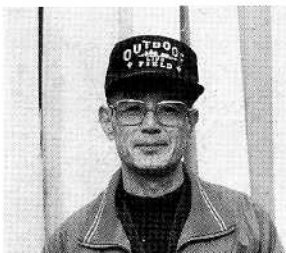
また、虎は強いもの、恐ろしいもののたとえにもよく使われます。「虎視眈眈」「虎の威をかる狐」「虎は飢えても死肉を食わず」「虎の尾を踏む」「虎は千里往って千里還る」など、枚挙にいとまがありません。ただし、酔っ払いの大トラはいだけません。

ところで、今年の年賀切手の意匠の題材は、福島県の郷土玩具「三春張子の子虎」です。これは、郡山市にある通称「デコ屋敷」で作られている張子の子の玩具です。デコというのは、木偶のことで、木彫りのデコに紙を張って張り子を作ったもので、職人さんの仕事場が集まっているのがデコ屋敷です。三春張子の子虎は「腰高虎」といって腰を高く上げて威勢のいい姿が特徴です。昨年は明るい話題の少ない年でしたが、今年は虎のように威勢よく頑張りたいものです。

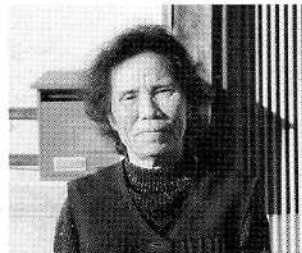
村内の寅年生まれの

二五二人（十二月末日現在調べ）

村内には、今年の干支寅年生まれの方が二五二人います。今年は何人の寅年生まれが誕生するでしょう。村に在住する寅年生まれの皆さんに新年の抱負を伺いました。



安江 房好さん（60）
S13.11.9生まれ（黒淵）
木工の新しい仕事を手掛けたいです。趣味はゴルフをやってみたいです。
（S13年生 34人）



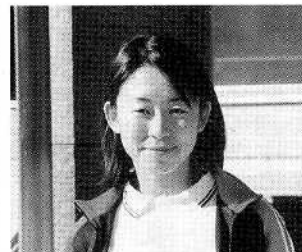
伊佐治たつ江さん（72）
T15.5.18生まれ（下親田）
健康で仕事や農業ができればいいです。
（T15年生 57人）



山口令次郎さん（84）
T3.10.2生まれ（宮代）
健康が一番。今年は農作業やグラウンド・ゴルフなどで楽しみたいです。
（T3年生 25人）



今井 里衣子さん（12）
S61.7.1生まれ（神付）
今年は6年生だからみんなをまとめるような人になりたいです。
（S61年生 49人）



鈴木 夕子さん（24）
S49.9.25生まれ（中通）
笑顔が絶えない1年にしたいです。のんびりテニスができれば。
（S49年生 18人）



桂川 誠さん（36）
S37.8.29生まれ（大明神）
お酒をひかえて健康管理に気をつけたい。仕事も不景気に負けず頑張ります。
（S37年生 30人）



今井 悦子さん（48）
S25.12.23生まれ（大沢）
飲食業なのでお客様に喜んでいただければ。
（S25年生 39人）

元気村の『出来事情報』



受賞された加藤寿子さん

合えたし、これも家族の理解や皆さんのお陰」と足どりを振り返る加藤さん。今後は指導される立場で村で開催されるイベントや教室に生徒として参加したいと話してくれました。

現在、村では十二人の方々が活躍しています。中でも栃山の加藤寿子さんは十二年間指導委員を務められ、その功績が認められて平成九年度東海四県体育指導委員の功労者表彰を受賞されました。

今回表彰されたのは岐阜県下で二十四人。可茂地区では加藤さん一人が選ばれ、加藤さんは村のみならず可茂地区の体育指導委員女性副部長も歴任されるなど幅広く活躍されました。

「気が付いたら十二年間、いろんな人に知り



今年は寅年。村にはトラはいませんので代理でトラネコちゃんに登場いただきました。

表彰 スポーツ振興に 12年間の功績

日ごろ村や地域のスポーツの振興のために指導やお手伝いをしてくれる体育指導委員の皆さん。



団体の部で優勝した陰地チーム

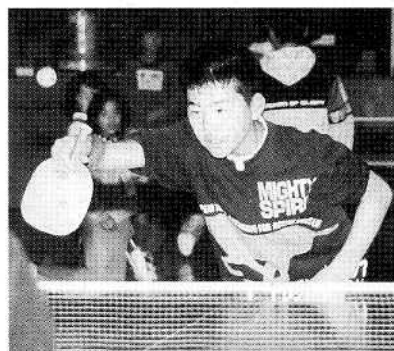
▼団体の部
優勝：陰地
▼個人の部
四年生：桂川唯（栃山）五
年生：安江麻由美（曲坂）
六年生：山口和良（上親田）
中学生：古田尚子（西洞）

子どもたちの体力づくりやふれあいを目的に今年で二十四回を数える親睦卓球大会が、十二月七日に東白川小学校の体育館で行われ、小学四年生から中学二年生までの子どもたちが熱き闘いを繰り広げました。

この大会は集落や地域を単位に五人一組の団体戦と小学四年生以上の学年別個人戦と中学生の個人戦が行われ、団体戦には八チーム、個人戦には四年生が八人、五年生が二十六人、六年生が十五人、中学生には三人が参加し、腕を競いました。優勝者は次のとおり。

「敬称略」

白熱 小さな闘志が輝いた 子ども会卓球大会



熱き戦いを繰り広げる子どもたち

記念 夏秋トマト販売 2億円を突破!!



面積10ヘクタール、売り上げ高3億円を目指してほしいと熱弁をふるう中野俊一さん

村の基幹作物には茶、夏秋トマト、ナスがあります。中でも夏秋トマトは、米の供給過剰を抑えるためにとられた国の減反政策の対応として、村では昭和四十九年から栽培が始められ、その後面積も拡大し今では村を産地化するまでに至り、年間売上高二億を突破しました。

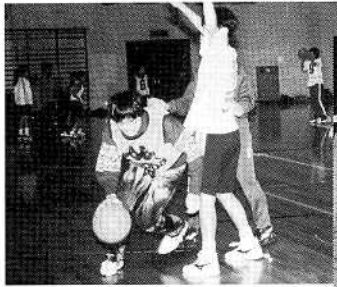
そして十二月九日には夏秋トマト販売二億円突破記念大会がはなのき会館で行われ、関係者約百五十人が参加し、その成果を祝いました。

大会では、生産功労者、選果場永年勤続者、市場関係業者の方々へ表彰状や感謝状が贈られたあと、高山市でトマト農家を営む岐阜県園芸特産振興会の中野俊一さんによる記念講演が行われました。



生産功労者として表彰を受けた皆さん

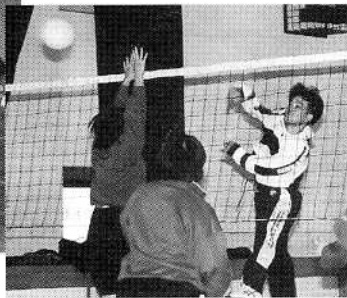
話題集まれ!



新春バスケットボール大会一般の部のようす

新春バスケットボール大会一般の部のようす
は約八十人が、一般の部とファミリーの部に分かれて試合を行い、親睦を深めました。

新春バレーボール大会のようす



恒例となった新春スポーツ大会、今年も元旦にサッカー大会が、また、翌日二日にはバレーボール大会とバスケットボール大会が開催され、新春のさわやかな汗を流しました。

恒例となった新春スポーツ大会、今年も元旦にサッカー大会が、また、翌日二日にはバレーボール大会とバスケットボール大会が開催され、新春のさわやかな汗を流しました。

新春の
さわやかな汗!!

親睦



新春サッカー大会・小学生の部のようす



更新された4台の小型ポンプ付積載車

当日表彰を受けた皆さんは次のとおりです。
【岐阜県知事表彰】
▲永年勤続功労章▽団長：安江美好▲勤続功労章▽副団長：稲垣進▲功労章▽副団長：安

新春を迎え、消防団員たちが心新たにする東白川村消防出初式が、一月五日にはなごき会館で多数の来賓を迎えて行われました。
分列行進などの諸行事は駐車場で行われ、団員たちの威風堂々とした整列や行進が行われました。また、今年には四台の小型ポンプ付積載車が更新され、第一ポンプほか三つのポンプに管理委託されました。
表彰などの式典は、会館の大ホールで行われ消防団活動に功績が認められた団員やそれを支えた家族の方に表彰状が贈られました。なお、

心を新たに
消防出初式

新



分列行進のようす

【東白川村消防団長表彰】▲功労章▽副団長：熊崎茂光▽団員：村雲治幸、村雲昌久、安江範、安江正巳、有賀浩幸、安江忠生、田口健二、今井美道、今井誠、今井明義、安江淳、桂川克雄、小林将矢、安江八城、田口泰宏、高木誠、今井信和、安江由次▲勤労章▽副分団長：菊田隆司▽団員：安江淑久、今井嘉徳、田口忠行、額額孝幸、安江周哲、安江章浩、安江寛、大坪七三男、栗本雄二、古田正広、今井秀樹、安江利修、安江真治、安江武司、松岡和彦、牧野勇三、安江広和、高木誠、嶋倉秀範、熊澤敏彦

【岐阜県消防協会長表彰】▲功労章▽副団長：田口幸生、村雲陽司、安江秀利
【加茂郡消防協会長表彰】▲功労章▽副団長：安江誠▽分団長：早瀬尚史、安江任弘、長谷川正利▽副分団長：桂川憲生、樋口孝祐、菊田正敏▽部長：村雲晴夫、早瀬忠司、笹俣良昭▽班長：村雲佐江樹▲勤労章十年▽副分団長：木村恒久▽部長：馬淵祐弘、松岡常好▽班長：今井敬治▽団員：古田正貴、今井克幸、桂川幸裕
【東白川村長表彰】▲特別功労章▽副団長：高井三郎、安江敏治

江敏治、松岡昭信▲消防団員優秀家族賞▽高井恵里子(黒瀬)早瀬美知子(神付)、菊田さゆり(陰地)、安江千佐子(宮代)【可茂県事務所長表彰】▲功労章▽分団長：安江友則、安江雅彦、長谷川正利
【岐阜県消防協会長表彰】▲功労章▽副団長：田口幸生、村雲陽司、安江秀利
【加茂郡消防協会長表彰】▲功労章▽副団長：安江誠▽分団長：早瀬尚史、安江任弘、長谷川正利▽副分団長：桂川憲生、樋口孝祐、菊田正敏▽部長：村雲晴夫、早瀬忠司、笹俣良昭▽班長：村雲佐江樹▲勤労章十年▽副分団長：木村恒久▽部長：馬淵祐弘、松岡常好▽班長：今井敬治▽団員：古田正貴、今井克幸、桂川幸裕
【東白川村長表彰】▲特別功労章▽副団長：高井三郎、安江敏治



消防団員優秀家族賞を受ける菊田さゆりさん(陰地)

なごやか村の『人情報』

お便り

東京から、新年を迎えて

東京都府中市 安江 富士夫



東京東白川クラブ

会長 安江富士夫さん

ですが、寅年の今年は、少しでも良い年になることを確信し、東白川村の皆様のご健勝と村の益々の発展を祈念し、新年のごあいさついたします。

新年あけましておめでとうございます。東白川村の皆様には益々ご壮健で良いお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

東京東白川クラブはふるさと東白川村の皆さんのご支援をいただき、おかげさまで今年四十五年目を迎えることができました。

東京にいても村から送られる広報紙を拝読し、元氣な村のようすが良くわかります。村人会も中京、岐阜、東京の三団体になり、村や村人会の皆さんと交流を深めるために計画された今年二月の合同旅行で、大勢の皆さんとお逢いして話の交換ができることを心待ちにしております。東京で全国物産展が時々開催されますが、白川茶、とまとのまんまなどが展示販売され、いつも楽しみにしています。

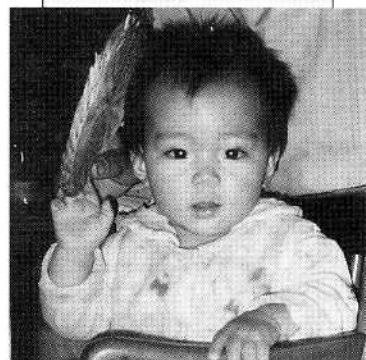
丑年の昨年は、金融関係の破綻など不景気な年でしたが、寅年の今年は、少しでも良い年になることを確信し、東白川村の皆様のご健勝と村の益々の発展を祈念し、新年のごあいさついたします。



12月26日に行われた園児たちのもちつき（越原保育園）



このコーナーの子どもたちみな同い年。
10年後、20年後「広報」をみれば10歳、20歳のあの子の顔が……



▲松岡 奈々ちゃん
(昭信さん・佐知子さん＝陰地)

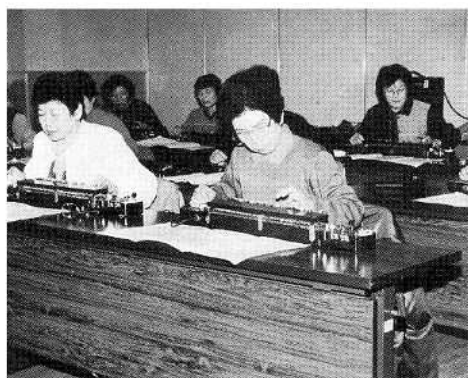


お正月の雰囲気を一層醸し出してくれる琴。琴の音色は人々の心を穏やかな気持ちにさせてくれます。今回は、琴の中でも大正琴のサークル、あやめ会を訪ねました。

発足して五年のこの会は、現在会員十三人で、隔週の月曜日に商工会館の二階で練習を行っています。

会の皆さんは上級師範の資格を持つ白川町の熊崎美枝子先生のリズムに合わせて、譜面を見ながらソプラノ、アルトなど、受け持ちのパートを熱心に演奏していました。

大正琴は、片方の手の指で弦を押さえるボタンを押して、



熱心に繰り返し練習を重ねるあやめ会の皆さん

もう片方の手の指でピックを持って弦を弾くピアノとギターを合わせたような楽器。そのため指先の運動と美しい音色で「ボケ防止にもいい」と皆さん。しかし、こうした健康管理とは別に、皆さんの目標は三月に行われる全国大会で素晴らしい演奏を披露することで、熊崎先生の厳しい指導にも応えていました。



みんな仲間だ！

消息

12月1日～12月31日

(敬称略)

●おくやみ申し上げます

安江 ふみ 76歳(神 付)
安江 末吉 91歳(柏 本)
早瀬 準學 69歳(上親田)

職場から

小松菜栽培農家

今回は、有機低農薬栽培により安全で安心な作物をセールスポイントに小松菜を栽培し、おもに可茂公設市場へ出荷している健康農産物を育てる会の安江千之さん(下親田)を訪ねました。

この会は平成元年に設立され、以前は千宝菜を中心に栽培していましたが、現在は需要が高い小松菜に切り替えられ、20数軒の農家が取り組んでいます。中でも千之さんは15^{アル}の広大な面積で栽培、そして「年間を通してできれば」とそのうち2^{アル}をハウス栽培に挑戦しています。また、「より良いものを出荷したい」と肥料にも苦心を重ね、その甲斐があつてか、市場でも評判は上々。今後、小松菜が夏秋トマト、ナスに続く村での産地化に期待が持たれます。



今回は十一月二十二日に挙式され、曲坂住宅に新居を構えられた竹腰優さん、美穂さんご夫婦を訪ねました。
お二人は共に白川町の出身でご主人は白川町の商工会、奥さんは東白川郵便局に勤務されています。
二人は高校の同級生で、当時



竹腰 優さん・美穂さんご夫婦

かけに二人はデートを重ね、約五年間の交際を経てめでたくゴールイン。「自分だけを見ていてくれた」というご主人と「やさしさに触れた」という奥さん。「いいふうふ」とゴロのいい日に結ばれたお二人は「子どもは二人で、温かい家庭が理想」と話してくれました。

は顔を知っている程度でしたが、卒業以来、仕事帰りにみんなですーパーの駐車場に集うのが日課でした。
そんな日々が続く中、ご主人に思いを寄せていた奥さんがバレンタインにチョコレートをプレゼントしたのが運命の始まり。それをきっかけに二人はデートを重ね、約五年間の交際を経てめでたくゴールイン。「自分だけを見ていてくれた」というご主人と「やさしさに触れた」という奥さん。「いいふうふ」とゴロのいい日に結ばれたお二人は「子どもは二人で、温かい家庭が理想」と話してくれました。

ホットアングル



最初はどうも上手にできない子
年寄り七人が務め、縄のな
い方、かいだれのつくり方
を手とり、足とり伝授しま
した。

この教室は、子どもたちに「村に伝わるしきたりや伝統を知ってもらおう」と行つたもので、講師には村の老人クラブのお

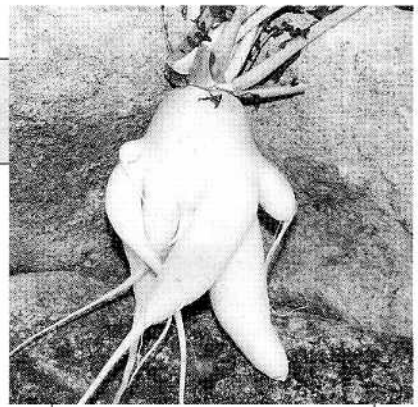
十二月二十日に東白川小学校では五年生の児童五十人を対象に「ふるさと教室」を開催し、子どもたちはしめ縄やかいだれづくりを体験しました。



縄ないに熱中する子どもたち

どもたちも、お年寄りたちの手ほどきを受けているうちに腕も上達。「おじいさんできたよ」とはしゃぐ子。隣の子のできばえが気になる子。中には四、五歳の長さまでなう子など様々でしたが、どうやら一つの伝統が継承されたようです。

知ってほしい『生活情報』



タコ足の大根 (大沢今井捷子さん)

社協から

くありがとう

温かい善意

昨年十月より皆様のご協力によって推進してまいりました「赤い羽根」及び「歳末たすけあい」募金運動ですが、本年度も多くの善意をお寄せ頂きありがとうございました。

尚、募金の集計結果については来月発行予定の「社協だより・第三十三号」にてお知らせいたします。

課題を追う

与えられる福祉から 参加する福祉へ

Ⅱ 介護保険のめざすもの Ⅱ

先程の国会で介護保険に関する法律が成立しました。制度の適用(スタート)はいまから二年後の西暦二千年四月からですが、来年度からそのための準備が始まります。

現在私たちの村で行っている高齢者介護は、せせらぎ荘での「デイサービス」、ホームヘルパーによる「家庭訪問介護」などです。また白川町との共同事業で「特別養護老人施設・サンシャイン美濃白川」に参画し、ショートステイや入所もできます。

これらの介護事業に対しては、利用者からのわずかの負担金の他は国・県・村から支出される金で賄われており、その額は膨大なものになります。

しかし、私たちの村ばかりでなく、日本全体の高齢者比率が高くなるにつれて、介護費用のほとんどを国や村で見ることが不可能な状態になりました。そこでその費用の一部に国民からの保険金を取り入れようというのが、「介護保険」の考え方です。

言わば、今まではほとんど与えられる一方の介護から、保険という制度の中に参加することによって、相互の助け合いの中で自身の介護保証を求めようとするものです。

細かいことはこれから決められますが、基本的には四〇歳以上の国民は平均月額二五〇〇円の保険料を支払い、原則として六五歳をこえて介護が必要になったときに、保険と公費からその費用を支払うことになります。この場合の本人負担は一〇割です。

村ではこの春から、この制度の仕組みについてお知らせし、各種の調査などを行い、新しい高齢者介護の課題に取り組んでいきます。



▼ 風邪に役立つ 民間療法パート1 ▲

① 陳皮のお茶

ビタミンCが豊富なみかんは昔から風邪に効く食べ物といわれていました。毎日食べることで風邪に対する抵抗力をつけることができます。

それでも風邪をひいたら、みかんの皮を一週間程度乾燥させた陳皮五、十粒に熱湯を注ぎ、砂糖を加えて飲みます。

② しょうが湯

しょうがは、臭みを消したり殺菌作用があることから、魚や肉料理によく使われます。また、消炎、保温効果があり、風邪や肩こり、冷え症にも活用されています。

風邪をひいたときは、しょうががひとかけらをすり下ろしたものに熱湯を注いで飲みます。せきやのどの痛みにはハチミツを加えるといいでしょう。

▼ 知っていますか? おせちのいわれ ▲

【黒豆】 まめに暮らせるように。

【かまぼこ】 形が日の出に似ていることから、新しい門出を意味します。赤は魔除け、白は清浄を示します。

【えび】 腰が曲がるまで長生き、長寿の願い。

【数の子】 たくさんの卵で子孫繁栄を願います。

【きんとん】 「金団」と書き、金は財、団は固まり。お金がたまるように【れんこん】 穴があいているので、先の見通しが良いこと。

【伊達巻き】 「伊達」であることは粋であること「巻く」ことは、結び・睦むことを意味し、仲良く新しい生産すること。つまり、進歩・教養・文化を示します。

あなたの家庭のおせち料理に入っていたかな?



行政の窓口

ありがとう
ございました

御寄付 (敬称略)

【社会福祉協議会へ】

現金 8 万円＝商工会土木部会
現金 5 万円＝安江保(神付)
現金 5 万円＝安江かつみ(陰地)
現金 10 万円＝島倉誠(平)
現金 1 万円＝今井好美(西洞)
現金 10 万円＝松岡勝(陰地)
古切手＝今井正男(中通)
タオル＝しらゆり会
古切手＝匿名
古切手＝古田タクエ(平)
テレホンカード＝安江ちづ子(黒瀨)

【母子健康センター】

おむつ 112 枚＝安江とくよ(平)

【社会福祉施設整備指定】

現金 100 万円＝安江範(下親田)

【越原保育園へ】

もみの木＝河村繁治(陰地)
もみの木＝桂川政一(日向)

ストレスをコントロールしよう

心身症という言葉聞いた事がありますか？ ころのバランスが崩れたためにからだに不調が生まれてしまう病気のことで、ホルモンのバランスもストレスによって乱れることがあるのです。その結果、月経異常、排卵障害、更年期障害の悪化などが、生じる場合があります。

心身の働きが不活発になってきたら要注意。ストレスの原因を知り、ひとつひとつのストレスと向き合って、自分なりに対処してゆくことが大切です。

適度なストレスは、心身の良い起爆剤。ストレスはそれを乗り越えていけたとき、私たちの人格の発展や成熟につながるという善玉の側面も備えているのです。問題は、ストレスで心身のバランスがひどく崩れる前に、いかにして自分のこころとからだを守るかということです。

保健婦だより

住民票の交付などが電算処理化

敏速、正確といった現代のニーズに応えるため、村では住民情報の電算処理化を進め、そして一月五日から稼働を始めました。

電算化で交付されるものは、とりあえず住民票、印鑑証明ですが、電算化されると

- ① 待時間が多少短縮されます。
 - ② 住民票が今まで一枚一人でしたが、五人まで一枚となります。
 - ③ 手数料は今までと同じですが、住民票の写しの場合六人以上になりますと少し安くなります。
 - ④ 証明の村長印が従来の朱印から電子公印となり、黒くなります。
- なお、納税証明は四月から所得証明は六月から稼働予定です。

サラリーマンの確定申告

サラリーマンの所得税は、給与やボーナスから源泉徴収され、年末調整で清算されるため改めて確定申告をする必要がありません。

しかし、確定申告をしなければならぬ場合や、しなくてもよい方でもすると源泉徴収された所得税が還付される場合があります。

- ① 給与の年収が二十万円を超える方
 - ② 給与所得や退職所得以外の所得金額(収入金額から必要経費を控除した後の金額)
 - ③ 給与を二ヶ所以上からもらっている方
- 確定申告をしないと所得税が還付される場合
- ① マイホームをローンで取得した場合
 - ② 多額の医療費を支払った場合
 - ③ 災害や盗難にあった場合
 - ④ 年の途中で退職し、再就職していない場合

転作配分面積が六割増加しました みんなの協力で目標達成を！

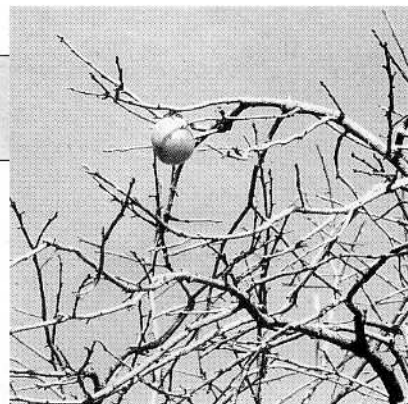
四年連続で全国的に米が豊作となり、国の米の在庫量が三六二万ト(昨年十月末現在)に達したため、十年度の転作面積が十七万六千ト増加しました。

それにともない村へは、九年度より六割多い三二・二割の配分がありました。

これは作付け可能な水田の三〇・五割に当たり、過去最大の配分です。

国ではこの対応策として、生産者と政府が資金を出し合って転作実施者を助け合う、全国とも補償制度を実施します。また、村とJAでは夏秋トマトなどの生産団体へ面積拡大を推進するとともに、大豆など補償金の有利な作物を奨励します。生産者、村、JAが一体となり、目標達成ができるようにご協力をお願いします。

輝く田舎の『文化情報』



木守りとして柿ひとつ残す風景も
少なくなってきました。

旬^{しゅん}の話 冬の色

百花繚乱の夏には目立たないが、秋から初冬にかけて花の代わりをするのが実の成る木です。とくに冬の季節、温室栽培の花ではなく、自然の中で美しい植物となると、私たちの村ではほとんど見当たりません。

そんなとき木の枝に着いた実の色は、控えめながらはっとするような色気さえ感じさせます。

神田神社の「ばばさ道」の上り口の辺り、後山谷のがけにいっぱいに着いている小さな木の実、よく見るとムラサキシキブです。同じ仲間のコムラサキか？と迷いましたが、やはりムラサキシキブと判定。高貴な紫色は神の門前を飾るにふさわしい爽やかさで、新春の風に揺れています。

家庭や地域での花作りはかなり定着してきましたが、長い冬の期間でもあきらめないで花のある生活を望むとき、名前の優雅さとはうらはらに、寒さによげず実をつけているムラサキシキブの力強さに教えられるものがあります。

私の作品



▲「土の中では」
高井紗代さん（黒渕）
東白川小学校1年生



▲貼り絵「南天」
神戸猶子さん（平）
貼り絵クラブ



▲「ブロンズ粘土「頑張る手」」
安江紗也香さん（黒渕）
東白川中学校2年生

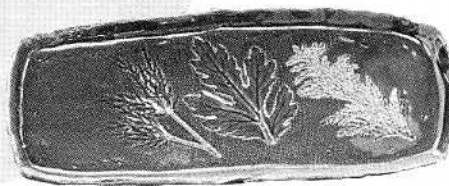


東白川小学校4年生
安江将宏さん（黒渕）
粘土「釣りをしている人」



神土保育園年長組
有田和津ちゃん（下親田）
安江竜一ちゃん（平）
「ぶらぶらサンタとトナカイ」

▲「ブロンズ粘土「目標を目指す手」」
安江あゆみさん（平）
東白川中学校2年生



▲陶芸「絵皿」
安江ふさ江さん（大明神）
高齢者生きがい事業

心のオアシス

東白川村百科

母子健康センター

東白川村は、昭和40年に、多年の保健行政の実績に対して、この分野最高の「保健文化賞」を受けました。

その記念に建設されたのが「母子健康センター」です。

その名のとおり、母と子が健やかに出産を迎え、その後の育児が安心して過ごせるための専門の施設でした。

それから33年。そうです、ここではじめて生まれた赤ちゃんが、いまでは33歳、その後どれだけ多くの人都在这里産声を挙げたことでしょう。

平成7年4月、母子健康センター跡地に新しい保健福祉センターが建てられ、母子健康センターはその2階に、ちょっとしたホテルの部屋のような素敵なムードで生まれ変わりました。

今は産院出産の全盛期、市町村直営で助産施設を運営するのは全国的にも少なくなりましたが、商業主義の中では無く、温かいふれあいに包まれて新しい命を迎える村の母子センターは、とても人気があります。

村の人、里帰り出産、加子母村、白川町、みんなに喜ばれて、1月7日、151人目の赤ちゃんが誕生しました。



「リサイクル知恵袋」

石澤 清史他著

リサイクルというのはモノを大切に使う・使い古したモノにどっやって、再び命を吹き込むかという事だと思ひます。全国の家庭や地域で行われている沢山のリサイクルのアイデアを紹介しつゝ。ペットボトルを利用しておしゃれな植木鉢を…。牛乳パックで小物など…。



短歌

招かれし小学校の運動会幼な児扮する兔可愛し	安江 守平
十月に入りて涼しも散歩路に入つ子一人居らぬ淋しさ	安江すみよ
広き田に麦まく事も絶えて久し夕日蒔田を染めて暮れゆく	三戸 きり
無花果の熟れたるを食む秋の夜をテレビに歌ふは「北の宿から」	今井 かな
衣替へ単衣を畳む手の甲に皺増しにけり古稀の坂越ゆ	安江 乙村
朝夕のつめたき風に色付きし木の葉流るる見えかくれして	早瀬 久子
旅に発つ朝の時刻の気になれば真夜に目覚めてなかなか寝付けず	蒔田 清美
ふりむけば夕日に染まる山脈 やまなみ がカーテン引くよに日は暮れてゆく	安江とくよ
重文の獅子頭並ぶ展示館バスの時刻も忘れて見入る	平 安江 節子

皆様の作品をお寄せください。ご投稿は偶数月の二十日までに
越原安江嘉久一宛にお出し下さい。

パスの窓に琵琶湖は遠く見えかくれ碧色深し光あつめて	安江 澄
気に入りの日向葵のTシャツと一しよに仕舞う夏の太陽	小林 道子
黙禱の臉に浮ぶ面影は二十二才ぞ戦没の友	安江嘉久一
信濃路に秋深まりて山の湖に映る紅葉の波うてるさま	安江 龍玉
いつの日か書き置きしわが略歴に朱筆加へて文箱に戻す	伊藤 重雄
ようやくに大根太りはじめたり虫と苦闘の日々を過ぎ来て伊藤	美枝
一枝を手折りて渡す行きずりの木屋愛する車の人へ	田口かずみ

おしらせ

連絡
募集
行事

ガス爆発事故の

防止について

調理や暖房の燃料として使われるガス。これは私たちが生活する上で欠かせない燃料の一つですが、ガスに引火して爆発すると大きな被害をもたらします。家を空けるときはガスの元栓をしっかりと閉め、また付近でガスの臭いや異常を感じたときは、速やかにガス供給業者もしくは消防署に通報してください。

岐阜県学生会館 入寮申込み手続きの案内

財団法人濃飛会では、東京都もしくはその周辺の大学へ進学される皆さんの中から岐阜県学生会館の入寮

者を募集します。

応募資格／岐阜県出身者
または岐阜県人の縁故者
募集人員／四十人（一年生のみ）

応募方法／入寮申込書、身上調書、写真三枚を送付
応募期間／一次：二月二十五日（水）、二次：三月十七日（火）必着
面接日時／一次：三月一日（日）、二次：三月二十一日（日）いずれも午前十時から

申し込み・お問い合わせ／
東京都八王子市子安町二一五八 財団法人岐阜県学生会館 理事長武藤嘉文
☎〇四二六・四六・六五六一

二月七日は

「北方領土の日」

わが国の固有の領土である歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の北方四島は、今日に至ってもロシアの不当な占拠下にあります。

これらの領土の一括返還を実現して、両国の友好関係を一層安定させようとい

うのが国の基本方針です。そのため国では、日露通好条約が調印された二月七日を「北方領土の日」と定め、皆さんの関心と理解を深めていただくことを願っています。

二月二日から

新郵便番号スタート！

郵便番号が七桁になります。

村の郵便番号は

越原 五〇九・一三〇一
神土 五〇九・一三〇二
五加 五〇九・一三〇三

に変わります。

新郵便番号は二月二日から実施されますが、今から新郵便番号を記載して差し出していただいてもかまいません。

現行五桁のはがき等の無料交換を三月末にかけて行います。

また、七桁の新郵便番号枠シールを郵便局などの窓口で無料配布します。

くわしくは／東白川郵便局 ☎八・二二四二、美濃越原郵便局 ☎八・二五四二

思いやりのある
優しい心を！

「子どもたちに人思いや優しい心を持って欲しい」と十二月四日に東白川小学校で人権映画会が行われました。

この映画会是人権モデル地区の事業の一環で行われたもので、一年生から三年生までの児童には坂本竜馬の幼いころをアニメ映画にした「おーい！竜馬」を、また、四年生から六年生には情緒障害児をクラスメイトに持つ子どもたちが、ふれあいの中から優しくなっていく様子を描いた「はばたけ、明日への瞳」が上映されました。



新しい年が始まった。昨年は今までになかったような悲しく心が痛む、また憤りを感じる多くの事件が発生し、この世はいつたいていどうなってしまうのだろうかと思ふ。今年には明るい話題に満ちた年でありたい。▼「一年の計は元旦にあり」最近あまり使われなくなった言葉ですが皆さんは今年の目標を樹てられましたか。▼樹てられなかった人のために「恩返しをしよう」こんな言葉で自分を思い描き、自らを励ましながら一年を送ってみてはいかがでしょう。

「いい汗かいて飯がうまい」貧富に関係なく健康で精一杯働けたら一番の幸せ。もうひとつ自分を叱咤する言葉「苦しいから逃げるのではない。逃げるから苦しいのだ」。最後に「疲れたら横になれ」。▼今年も広報を愛読いただく皆さんのために、いい汗をかきたいと思ひます。また、村民の皆さんの協力とそして、皆さんの情報をお待ちしています。

(M)



再生紙を使用しています